

令和 6 年 8 月 7 日

## 本学附属中学校が第 13 回理科教育大賞を受賞 公益財団法人日産財団理科教育助成

令和 6 年 7 月 26 日（金）に横浜ベイホテル東急で行われた「第 13 回理科教育賞・第 7 回リカジョ育成賞贈呈式」にて、本学附属中学校が最高賞である理科教育大賞を受賞しました。当日に行われた成果発表会では、大賞候補に選考された 4 校が、2023 年度に実践した 1 年間の教育活動の研究成果をそれぞれ発表しました。また、福島県内の小学校、中学校で、理科教育大賞の受賞は、13 年間で初の受賞となっています。

附属中学校では、2022 年度に日産財団理科教育助成を理科教育と STEAM 教育の 2 つの分野で申請し、2023 年度の採択を受けました。2023 年度から、「県内外公立学校への波及を見据えた『STEAM 教育』の先進的実践による成果と課題の分析」を研究テーマに実践を行ってきました。本校の研究推進にあたっては、本学人間発達文化学類の中田文憲教授、平中宏典准教授から STEAM 教育や理科教育について、専門的な助言を受けながら研究を推進し、地域の公立学校への波及を目指して取り組んでおります。

附属中学校で、2023 年度に実施した学習テーマは、「ごみと物質」「光源装置の作成」「ロガー付き電圧計の作成」「3D 地形図を活用した大地の変化の探究と防災教育」「3D 地形図を活用した気象分析」「ビオトープを活用した生物の観察と環境保全」「プログラミングによる節電効果の検証」「プログラミングによる植物の育成と観察」の 8 つであり、1 単位時間にすると 25 時間分の実践事例をつくることができました。これらについて、授業公開や実践事例紹介、パンフレットや事例集の配付を繰り返し実施してきました。

これらの活動が公益財団法人日産財団に認められ、第 13 回理科教育賞・第 7 回リカジョ育成賞贈呈式にて、理科教育大賞を受賞しました。

（お問い合わせ先）  
附属中学校 教頭 甚野 隆洋  
電話：024-531-3032（直通）  
メール：fucyu@adb.fukushima-u.ac.jp

第13回 福島大学附属中学校 贈呈式  
公益財団法人日産財団

公益財団法人日産財団理科教育助成

第13回 理科教育大賞を受賞

第187回定例記者会見 2024.8.7

発表者 福島大学附属中学校

副校長 遠藤 博晃

教諭 関本 慶太

# 理科教育大賞の贈呈式の様子

第13回理科教育賞・第7回リカジョ育成賞贈呈式  
公益財団法人日産財団



理科教育大賞1件 理科教育賞3件 リカジョ賞1件



中央：関本教諭 右：甚野教頭



13年間で  
福島県勢  
初の受賞

# 本校の研究推進について

文部科学省

授業時数特例校制度の指定

理科

数学

総合的な学習の時間

授業時数の増加 ↑

教科等横断的な探究学習の推進

日産財団理科教育助成 研究テーマ

「県内外公立学校への波及を見据えた『STEAM教育』の先進的実践による成果と課題の分析」

研究  
協力

STEAM教育

福島大学人間発達文化学類  
中田 文憲 教授

理科教育

福島大学人間発達文化学類  
平中 宏典 准教授

# 研究の概要紹介

## 1学年

単元1 単元2 単元3 単元4

全単元で実施

## 2学年

単元1 単元2 単元3 単元4

2つの単元で実施

## 3学年

単元1 単元2 単元3 単元4 単元5

3つの単元で実施

## 8つ学習テーマ

「ごみと物質」 「光源装置の作成」 「ロガー付き電圧計の作成」 「3D地形図を活用した大地の変化の探究と防災教育」 「3D地形図を活用した気象分析」 「ビオトープを活用した生物の観察と環境保全」 「プログラミングによる節電効果の検証」 「プログラミングによる植物の育成と観察」

# 理科授業 1単位時間で25時間分の授業実践



# 研究の概要紹介

# プログラミングを活用した探究

口頭の説明は省略いたします

作成した光源装置を活用した凸レンズによる像のでき方

1 学年



iPadとマイクロビットを活用し、光源装置を作成。LEDの間隔を読み取り、数量的な視点で倍率を探究。

センサースイッチによる節電効果の検証

2 学年



センサースイッチを用いて回路を作り、消費電力を計算。電気制御の節電効果を数量的に求めた。

プログラミングによる植物の育成と観察

技術の授業の学びを理科に生かす

3 学年



ポンプ制御器  
土壌湿度センサー  
指令器



マイクロビットと給油ポンプを用いて作成した自動散水機を活用し、ビニールハウス内で植物を育成。理科の生命の連続性の単元の植物観察に利用。

# 研究成果 〈公立学校への波及〉

生徒発信



教師発信

**質問** [申込時] 令和3年度から令和5年9月までにSTEAM教育等の教科等横断的な学習を実践されましたか。

**質問** [年度末] 学習指導法研究会から現在までの約3ヶ月間の中でSTEAM教育等の教科等横断的な学習を実践されましたか。

全教科教員の回答 (n=165)

**15%  
上昇**

理科教員の回答 (n=23)

**30%  
上昇**

	申込時	年度末
実施有	18名	44名 +26名↑
実施無	147名	121名

	申込時	年度末
実施有	2名	10名 +8名↑
実施無	21名	13名

